

【中秋節・国慶節】

お月見のシーズンが近づいてきました。日本と同じく中国にも「中秋節」があります。中秋節は旧暦の8月15日に行われる月を祭る節句で、2015年は9月27日がその日にあたります。中国では旧正月である春節に次ぐ伝統的な祝日で、3000年余りの歴史があります。中秋節の丸い月は家族団らんを象徴し、「団らん節」とも呼ばれています。毎年、中秋節になると、人々は実家に帰省し、家族と一緒に食事する風習があります。

また中秋節では月餅（げっぺい）というお菓子を食べながら、お月見をします。月餅は、最初は月の神様への供え物でした。その後、中秋に月見をしながら月餅を食べることは徐々に「一家団らん」を楽しむものへと変わってきました。家族の絆を重んじる中国人にとって、月餅は中国で最も人気があり、かつ大切な食べ物です。中秋節が近づくと、様々な種類の月餅がお店の、一番目立つ場所に陳列されます。スタンダードな月餅は、薄い皮に具材と餡を入れ、それを押しつけ、焼き上げた丸いお饅頭のようなものです。甘くて、柔らかい伝統的なお菓子で、主にケーキ屋、パン屋、お菓子屋、高級レストラン等で作られていましたが、最近は自宅で作る人もいます。

伝統的な餡は、蓮の実を練ったものや甘い味噌と卵黄で味付けをしたものです。最近ではアイスクリーム月餅、チョコレート月餅など現代的な味の月餅も登場しています。また中秋節に親友や取引先に月餅を送ることも流行っており、お互いの幸せを祈る意味があります。

そして、中国では秋にもう1つ大きな祝日があります。それは国慶節（こっけいせつ）といい、中国の建国記念日にあたります。春節と同様に、大型連休となり、10月1日から10月7日まで1週間お休みになります。地方の人々は北京、上海などの大都会へ、反対に大都会の人々は国内の景勝地や海外へ旅行するというのが最近の傾向のようです。そのため、この期間はどこへ行くのも大混雑なのだそうです。

国慶節の間は市内でも丸亀城などで中国から観光に来た人たちを見かける機会があるかもしれませんね

